

看護職員の負担の軽減及び処遇の改善の計画及び評価

令和3年5月6日(木)

看護補助者の配置

看護職が看護業務に専念し、良質な看護ケアを提供するために看護補助者を配置し、看護職員の負担軽減を図る。

令和3年度計画	評価	課題・目標
看護補助者対象の研修への参加促進。(各人年2回受講)		
院内研修会において知識・技術力のアップを図る。 看護補助研修会:年6回開催(参加率90%目標)、ミニ勉強会: 年2回開催。		
看護補助者の増員を図る(目標5名)		

多様な勤務形態の導入

令和3年度計画	評価	課題・目標
早出勤務(1F 8:30~17:30) (2F 8:00~17:00)		
遅出勤務(12:00~20:30)		
患者様の状況や業務に応じた機能別勤務と時差勤務による効率化を図る		

夜勤従事者の負担軽減

令和3年度計画	評価	課題・目標
シフト間隔の確保として、週に2回の休日の確保		
夜勤者増員体制の継続(看護職員2人と看護補助者との3人体制)		
月の夜勤回数の上限を5回に設定する		
夜勤専従者を配置する(各病棟に1名)		
夕食の多忙時に1時間の機能別勤務者を配置(各病棟2名)		

子育て支援制度及びその他の制度について

令和3年度計画	評価	課題・目標
出産・育児・介護などに伴う休業・休暇取得促進		
育児・介護のための時間外労働及び夜勤の制限		
育児・介護のための所定労働時間の短縮などの措置		

その他

令和3年度計画	評価	課題・目標
休暇については可能な限り希望に沿った付与を実施		
特別休暇(GW・夏季・正月)の付与		